

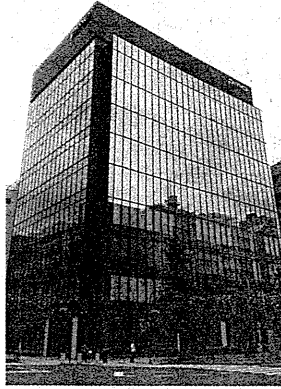
青山特殊鋼

野村不動産と共同事業

新オフィスビルを建設

特殊鋼流通大手の青山特殊鋼(本社=東京都中央区、青山信一社長)は野村不動産と共に現本社土地(8

25平方メートル)に9階建てのオフィスビルを建設する。3階建ての現社は築49年(1967年竣工)が経ち老朽



新オフィスビルのイメージ

化が進んでいることから建て替える。新たなビルは1階をエントランス・テナント駐車場とし各フロアの専有面積495平方メートルを確保する。新ビルは中堅企業までが入居できるオフィス需要を見込む。2018年春の竣工を目指す。総工費約55億円は全額野村不動産が負担する。

青山特殊鋼は野村不動産が展開するオフィス「PMO」(プレミアム・ミッドサイズ・オフィス)事業と共同事業体を組み、現本社土地に9階建てのPMOビルを建てる。うち青山特殊鋼は3フロアを確保し、5フロアを野村不動産が賃貸する。青山特殊鋼は土地を提供する代わりに野村不動産に運用・管理を任せる。施工はJFEビルが担当する。野村不動産のPMO事業は、多様化するビジネスに求められる賃貸オフィス・賃貸事務

所ニーズに対し、中規模サイズでありながら大規模ビルと同等の機能性とグレードを併せ持つ、新しいカテゴリのオフィスビル。東京都心のアクセス良好な立地に、5月現在19棟ある。

青山特殊鋼は創業が1914(大正3)年3月の老舗特殊鋼商社。年商は450億円規模。会社設立から10月1日に60周年を迎えることから、株式会社八丁堀の地に新オフィスビルの建設を決めた。